



教育方法

・・・学習支援方法論・・・

シラバス

syllabus

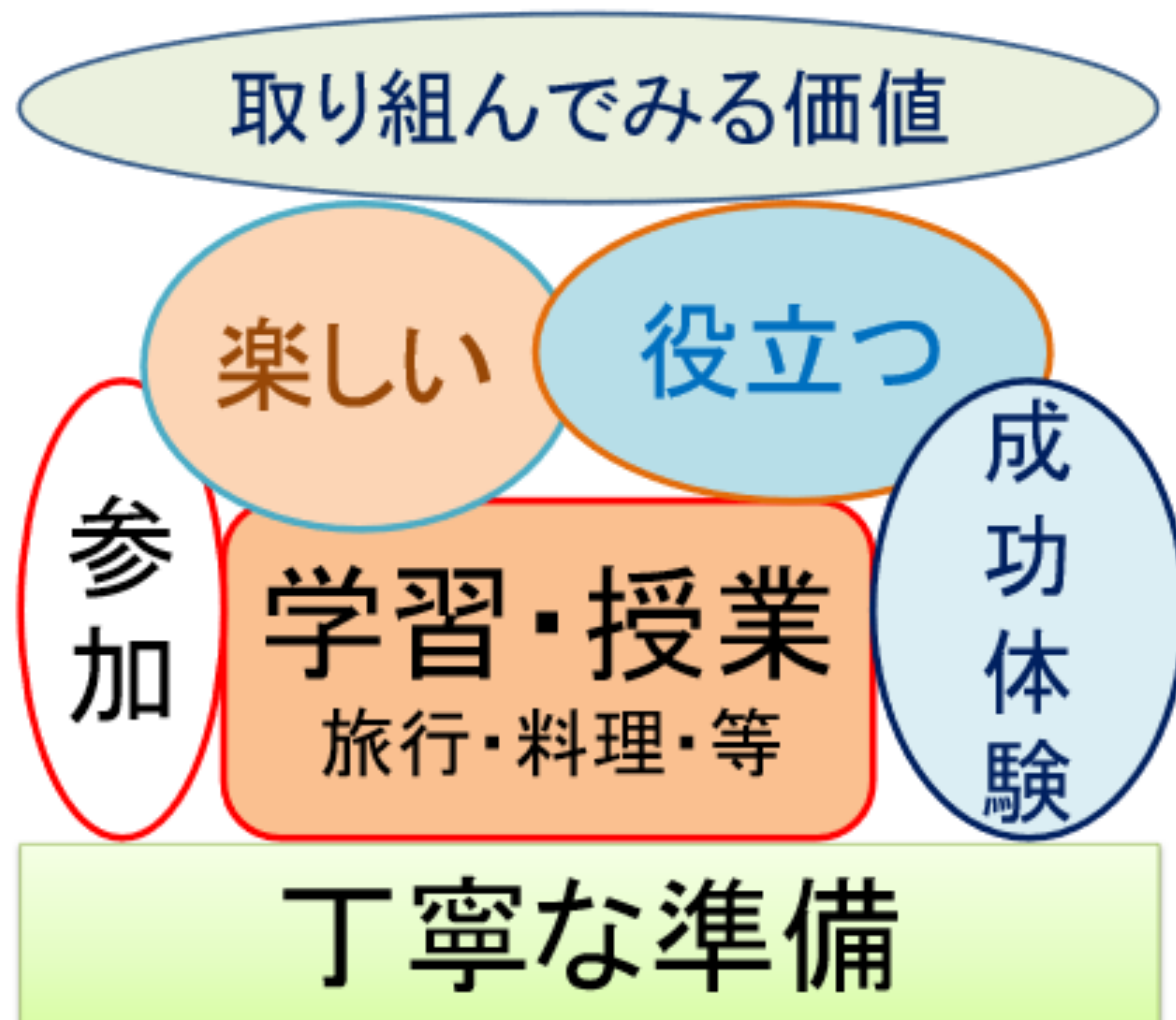
職業教育研究開発推進機構・主催（27期）
担当・川廷 宗之（大妻女子大・名誉教授）

学習支援方法 (教育方法) を 学ぶ

＝人生（生活）を「楽しむ」方法を学ぶ

＝学生自身が自分自身の成長を実感して「楽しむ」方法を学ぶ

Syllabus＝そのための手引き書（ご案内）



図一〇. この講習が目指す「学び」

1. メイン・テーマ 介護福祉士養成のための「学習」支援方法

2. 学習の目的

• この介護教員講習会での科目「教育方法」での学習目的は、（介護福祉士養成系の）「実務家教員」として職業教育機関の教員になるために修得しているべき、学生への「学習支援方法（教育方法）」を修得することです。

• 言い換えると、どうすれば学生に、楽しく効率的に充実した学習の場を提供できるか、実際に具体的に体験を含めて身に着けることです。

3. 参加者の皆さんができるようになる事 （達成課題）

この講習の終了時点で、参加する皆さんができる様になっている（はずの）事は以下の通りです。

- ① 「学生」とともに、自分自身も学べるようになること。
- ② 「学生」同士の学びを支援（誘導・環境設定）できるようになること。
- ③ 楽しく効率的な学びの仕掛けが有効性を持つことを確認していること。

4. 上記3. の「達成課題」できる様になったかどうか、**確認します。**①

上記の課題が課題を達成できるようになったかどうかは、講習中の作成する5つのアサインメント（課題）と、最終日以後2週間以内に作成していただき、下記の最終**レポート**で判定します。

• 最終レポート

レポートテーマ 「あなたが将来なりたいと思う（今はできなくても）学習支援者像、およびあなたが（将来）行いたい（今はできなくても）学習支援方法について、説明してください。」

（2000字以上（4000字以内）の文章と**図解**（二葉・以上必須）を使って）

（直ぐに、そう成れなくても、そういう支援方法を実践できなくてもかまわない。両方とも自分が将来できるようになりたい具体的なイメージとしてまとめてください。解りやすく。）

（合否・判定基準は、講習中にお伝えします。）

4. 上記3. の「達成課題」できる様になったかどうか、確認します。②

講習中の5つのアサインメント + 受講生コメントカード

上記5の学習を行っていくために、また、充実した（完成の喜びを味わえる、「わかった」と実感できる）楽しい講習を展開していくために、この講習に参加する方々には、以下のアサインメント（課題・宿題）に取り組んでいただきます。（進行状況によっては、途中で若干の変更可能性があります。）

- ①《アサインメント1》 ・ ・ 第2回に出題 ・ ・ あなたが、今までの生涯の中で、最も学んだと思うことは何（内容）ですか。それを何処で、誰から、どういう風に学びましたか。（800～1200字程度・小見出し・複数案件・）
- ②《アサインメント2》 ・ ・ 第4回に出題 ・ ・ あなたの生涯の中で、「この人からもっと学びたい」と思った方はどなたですか。（お名前は伏せておいてよい。どこのどういう人か、何歳くらいの人かは紹介してください。） ・ ・ あなたは、何故、その方から学んだと考えるのですか。（1200字以上・小見出し・複数案件）

4. 上記3. の「達成課題」できる様になったかどうか、**確認します。**③

③**《アサインメント3》** ・ ・ 第6回に出題 ・ ・ あなたは、自分のこれからの人生をどう創って行きたいと思いますか。（様式指定）

④**《アサインメント4》** ・ ・ 第8回に出題 ・ ・ あなたは、今後、何を（どうやって、どこで）仕事上の後輩たちに教えていきたいですか。 ・ ・ その内容を後輩に教えて、彼らが教えてもらってよかったと思うであろう理由は何ですか。（800字以上・小見出し・複数案件）

⑤**《アサインメント5》** ・ ・ 第8回に出題 ・ ・ ④の教えていきたい内容を効果的・効率的に解ってもらうには、どこでどういう方法で教えればよいと考えますか。（800字程度・小見出し・複数案件・）

⑥**《受講生コメントカード》** ・ ・ 毎日修了時（当日中） ・ ・ 指定された項目（6項目＝要約（必須）＋質問＋感想＋メッセージ＋指定質問＋俳句と短歌）にご回答いただく形で、毎回、提出してください。このカードの「今回の授業の『要約』」等の内容を見て、実質的な出席確認とします。

5. 主な学習内容（毎回の学習予定と主題） 全30時間・課程

皆さんが、上記3ができるようになるために、上記4の課題を（軽々と）こなせるようになるために、以下のような内容を学びます。

第1回（第1日目）①この科目での「学び」

第2回（第1日目）①-2 「職業教育」が抱える今後への課題

第3回（第2日目）②「学ぶ」とは -1何をどう学んできたか

第4回（第2日目）②「学ぶ」とは -2何をどう学びたかったか

第5回（第3日目）③他者の「学び」への支援 -1出会った人（人生での師と思う人）

第6回（第3日目）③他者の「学び」への支援 -2「共育（ともいく）」の関係（学生と教員）

第7回（第4日目）④「生きる」喜び -1人生を裕（ゆたか）に楽しむ

第8回（第4日目）④「生きる」喜び -2目標をどう実現していくか、その方法

第9回（第5日目）⑤人生をどう創って行くかを「学ぶ」 -1生きるための「学び」

第10回（第5日目）⑤人生をどう創って行くかを「学ぶ」 -2教員としてミッション（使命）

5. 主な学習内容（毎回の学習予定と主題）

学習日程・ 全30時間・ 課程

《関連して学習日程と時間》 以下の通りです。

第1日目・ 7月15日（土） 午前・ 第1回 午後・ 第2回

第2日目・ 7月29日（土） 午前・ 第3回 午後・ 第4回

第3日目・ 8月19日（土） 午前・ 第5回 午後・ 第6回

第4日目・ 9月02日（土） 午前・ 第7回 午後・ 第8回

第5日目・ 9月23日（土） 午前・ 第9回 午後・ 第10回

講習時間は、午前は、午前9時20分から12時30分まで、午後1時30分から午後4時40分までです。なお、授業時間以外のアサインメント作成などの時間として、毎回につき1～2時間を必要とします。



6. 学習への取り組みのための教材

以上の様な学習を展開するために、以下の教材を使います。

テキストは、受講時にすぐ見られるように、手に取れる所に置いておいてください。

また、毎回、こちらからお送りする教材、受講生同志で交換する教材等を使います。この教材に関しては、プリントしておいた方が学びやすいでしょう。かなりの分量になる場合もありますので、PC操作に慣れている方はデータで保管しておいて、その都度、画面で見てもかまいません。適宜、自分に合わせたやり方で活用してください。

テキスト 川廷宗之著「学生も教員もともに楽しめる教育方法入門」上・下
職業教育研究開発推進機構・2022年・刊

所要参考文献 川廷宗之編著「専門職大学の課題と展望」
(販売取扱・・・職業教育研究開発推進機構)

送信教材（予定）

- ①前回の振りかえり（質問回答など）
- ②その回の学習補足資料 ほか

7. 充実した学習を展開するために・・・①

(1). **共に学ぶ皆さん**・・・ 熱心かつ優秀な、**実務家教員**として介護教員となることを目指す、平日は働いて貴重な土日も学ぼうという**目的意識のはっきりした（超多忙な？）受講生の皆さん**と、担当教員として川廷宗之（かわていもとゆき）という**心は若い**〔大妻女子大学名誉教授〕です。

第1回目の講習で、皆さんに自己紹介をお願いします。



(2). **Zoomを使用したオンライン授業**・・・ 基本はスマホではなく**PCを使うことを想定**して進めます。教材等は、全部PC想定で準備されています。従って、**PC操作に習熟してください**。（Word Excel PP や Zoom Mail などの操作ができることは、教員の必須要件です。） また、通信環境の確保も（できるだけ有線で）をお願いします。

7. 充実した学習を展開するために・・・②

(3). 皆さんと担当講師のコミュニケーション——問い合わせ・連絡先——

課題の提出先は、担当教員への連絡アドレスの kawateikaikyo@yahoo.co.jp と事務局アドレスの両方に送信してください。（メールは確実に着くとは限りませんので・・・。）

グーグル・クラスルームを使う予定です。（課題のやり取りなど）

ご質問や問い合わせなどのご連絡は歓迎します。出来るだけ、授業時の休み時間などに質問していただくと良い（チャットでの質問も可）のですが、うまくいかない場合は、Eメールでお願いします。（質問等送信先アドレスは、担当教員への連絡アドレス使用）、なお、個別での回答には2～3日、内容によっては1週間前後の時間を要する場合がありますのでお含みください。

(4). 「介護教育方法」との関連・・・ 「介護教育方法」の講習内容は、この科目内容及び 「教育学」 「教育評価」の両科目を踏まえて展開されます。（介護関連科目は勿論、基礎科目となります。） 「教育方法」での使用した教材は、「介護教育方法」でも使用する可能性がありますので、使える状態で保管して置かせてください。

8. 参考資料など

(1). 重要参考文献

- 川廷宗之編著『介護教育方法の理論と実践』弘文堂（介護教育方法テキスト）
- （上記は、授業中使う可能性がありますので、持っていることが望ましい。）
- 川廷宗之編著『介護教育方法論』弘文堂（まだ入手可能・アマゾンへ）
- D.W.ジョンソン他著（関田一彦他訳）『学生参加型の大学授業』玉川大学出版部
- 田中 萬年 著「『職業教育』はなぜ根づかないのか」明石書店
- 本田由紀著「教育の職業的意義」ちくま書房

(2). 関連主要参考文献 講習中に随時、紹介します。

8. 参考資料など

(3). キーワード・・・

- ・ 人生（を楽しむ）
- ・ 学習（学ぶ）
- ・ 学習支援
- ・ 相互作用
- ・ 職業への確信
- ・ 協同学習
- ・ 生きがい
- ・ Well Being
- ・ 学生
- ・ 学習者
- ・ 教育理念
- ・ 教育方法
- ・ 「授業」
- ・ 授業方法
- ・ アクティブ・ラーニング
- ・ 学習指導
- ・ 学習支援
- ・ 教育課程
- ・ PBL学習法
- ・ 知識観
- ・ 学力（観）
- ・ 授業改善
- ・ 教授法（学）
- ・ 授業案
- ・ （学習）授業案
- ・ FD
- ・ 教員
- ・ 授業設計（計画）
- ・ シラバス
- ・ 教科書
- ・ 教材開発
- ・ 問題解決学習
- ・ 表現活動
- ・ 体験学習
- ・ 発問
- ・ 板書
- ・ ポートフォリオ
- ・ メディア革命
- ・ 情報教育
- ・ ルーブリック評価
- ・ キャリアガイダンス
- ・ 介護福祉（教育）
- ・ 授業評価
- ・ 教員評価
- ・ 授業研究
- ・ 授業記録
- ・ 教師教育

・（主なもののみ）

※キーワード＝授業終了時に理解している（説明できる・その単語を使って物事を語る）べき単語（学びの糸口になる・資料検索時に活用できる単語）